

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結ぶ —

校長室だより No.9

“やさしく かしく たくましく”
～ 本気と礼節の教育 ～

令和3年8月25日 文責:安生昌弘

◆ 何とか乗り越えましょう

夏休みの間に新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が新しい局面になってしまいました。そんな中でも現在までのところ、田村市は感染爆発と言える状況までは至っていません。これも保護者の皆様を始め、ご家族の皆様のご努力のお陰と感謝申し上げます。学校の授業が再開されますので、学校では下記枠内のように児童に指導すると共に教職員が教室の換気や消毒などの環境整備に努めますので、ご家庭でも下記の3点を参考に感染拡大防止にご協力ください。今こそ、学校と家庭とのハイブリッドパワーで、この状況乗り越えましょう。

記

1. 発熱等の症状が出ない感染者が見られるので、登校前の子どもさんの健康観察を検温ばかりでなく、本人に体調をよく聞くなど丁寧に行い、かぜのような症状がある時は無理をさせずに休ませてください。同居家族にかぜのような症状がある時も休ませてください。欠席扱いとは致しません。
2. 清潔なマスクを持参させてください。どうしてもマスクを着用できない理由がある子どもさんについては担任にご相談ください。
【参考：マスクの感染防止効果】 不織布マスク > 布マスク > ウレタンマスク
3. ご家庭でも手指の清潔に努めると共に子どもの自己免疫力を高められるように好き嫌いをせずに多くの食品を摂ることのできる食生活に努めてください。

船引小学校の児童の皆、おはよう。今日は特別に朝の放送をします。それは、テレビや新聞でも報道されている通り、新型コロナウイルス感染症の状況が夏休み前と大きく違って来たからです。お医者さんの中には、今までのコロナウイルス感染症とは違う感染症と考えても良いと話す方がいる位で、休み前までの対策では病気がうつらないように出来なくなってきました。次のことを守って皆が健康で学校生活を送れるようにして欲しいと思います。

1. 運動する時や人との距離が2m位(大人が広げた両手の距離位)ある時以外はマスクをしましょう。(鼻を出しちゃったり、隙間が開かないようにね)そして、時々人はいないところや窓のところ、外などでマスクを外して深呼吸をしてください。マスクをしていても近くで大きな声で話していて、うつってしまった人もいますから、話す時は、あまり近づかないようにしましょう。マスクは、うつさない、うつされない両方のために役に立ちます。
2. 手洗いをこまめに時間をかけてしましょう。手洗いも手指の消毒も手のひらを上手に出来る人は多いのですが、指先を上手に出来る人は少ないです。特に給食前は丁寧に指先まで洗うようにしましょう。
3. 飲んだり食べたりする時に、うつってしまう人が多くいます。マスクを外すからです。給食の時間や飲み物を飲む時は今まで以上に声を出さないという事を守りましょう。
4. 体の調子が少しおかしいなと思った時は、すぐに家の人や先生に相談しましょう。熱がなくても感染症に罹っている人が多くなってきました。無理をせずに欠席したり早帰りしましょう。

今まで大丈夫だったからというのが通用しないウイルスになってしまいました。先生方の指導通りにしていれば、きっと大丈夫です。しかし、我慢することが多い生活なので、ちょっと気分がもやもやするなあとという時は、先生方の誰でも良いので相談して話を聞いてもらいましょう。毎週金曜日には、スクールカウンセラーの佐藤智美先生も来られますから、相談をすることができますので、先生にお願いしましょう。

最後に、新型コロナウイルス感染症に罹ってしまう事は仕方のないことです。罹った人やその家族を悪く思ったり噂をしてはいけませんよ。学校に来られるようになった時に優しく迎えて欲しいと思います。何とか皆で力を合わせて感染症を乗り越えていきましょう。

学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。